

農地・水・環境保全だより 第35号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

多面的機能維持発揮活動 第四回『松阪のつどい』を開催しました!!

平成30年10月25日（木）、明和町斎宮の「いつきのみや地域交流センター」にて、多面的機能維持発揮活動 第四回『松阪のつどい』を開催しました。

松阪地域のつどいは、多面的機能維持発揮活動に取り組んでいる組織が集まり、情報交換と交流を行うことを目的に開催し、今年度で4回目となります。平成26年度に1回目として多気町で開催し、その後は平成27年度に松阪市、平成28年度に大台町、そして今年度明和町で開催することとなり、松阪管内を一巡することが出来ました。参加者は、松阪管内4市町で活躍する108組織の方々など、約210名にご参加いただきました。

開会挨拶では、主催者を代表して三重県松阪農林事務所 吉川所長のあいさつの後、主催地を代表して明和町中井町長より歓迎のごあいさつをいただきました。

松阪管内の取り組み事例発表では明和町「勝見地域環境保全協議会」と大台町「神瀬環境保全協議会」に発表していただきました。



吉川所長の挨拶

勝見地域環境保全協議会からは、景観形成の取り組みとして農業施設沿いへのひまわり・水仙・芝桜の植栽についてご説明いただきました。また、地域を巻き込んでの水路の補修やふれあい祭の様子などをご紹介いただきました。

神瀬環境保全協議会からは、農地維持活動での水路の点検・泥上げ、ため池の点検、農道・水路・ため池の草刈りの様子をご紹介いただきました。また、地域の農業者の高齢化や担い手不足等により、年々農家のみでの地域資源の維持管理が難しくなっている中、多面的機能支払交付金活動を農家、非農家にかかわらず集落全体の取り組みとして位置づけて取り組んでいることを発表していただきました。

その後休憩時間を利用して、ロビーでのポスターセッションを行いました。松阪管内7組織の活動内容をまとめたポスターをロビーに展示し、各組織の方にそれぞれのポスターの横に立っていただいて、参加者からの質問に答えてもらうという形で情報交換・交流の場を設けました。



勝見地域環境保全協議会の事例発表



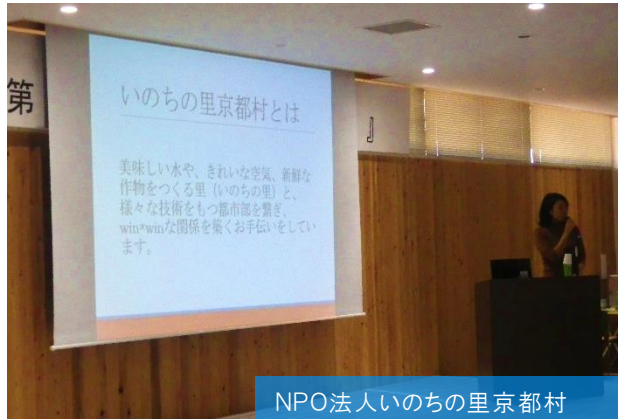
神瀬環境保全協議会の事例発表

その後の基調講演では、NPO法人いのちの里京都村事務局長 林利栄子氏より「狩猟とジビエ～狩猟のある暮らしと仕事～」と題して講演していただきました。林氏は都市と農村を結ぶコーディネーターとして活躍されています。また狩猟免許を取得され、NPOや狩猟活動を通して、働き方や食のあり方についての講演活動にも取り組まれています。今回の講演では、NPO活動の紹介や、狩猟を取り巻く現状・獣害対策や狩猟免許取得までの流れ、銃を所持するまでの流れ、ジビエの普及活動について講演していただきました。



各組織の
ポスターセッションの様子

参加者にご協力いただいたアンケートでは、事例発表・基調講演・ポスターセッションについて、約9割の方から「参考になる」との回答をいただき、「今後もこのようなイベントに参加したい」といった感想をいただきました。一方、「資料の字や写真が小さくて見にくい」、「活動の研修となる講座があったほうが良い」などのご指摘もいただきました。このようなご意見をふまえて、今後も多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の皆様との交流、情報共有の場となるよう、『松阪のつどい』を継続開催していきたいと考えています。



NPO法人いのちの里京都村
林事務局長の基調講演

第3回 多面的機能活動 伊賀・名張のつどいを開催しました！

平成30年10月30日（火）、伊賀市下柘植のふるさと会館いがで、「第3回多面的活動 伊賀・名張のつどい」が、秋晴れの中 大規模に開催されました。

多面的機能支払事業の活動組織間の交流及び、情報共有の場を提供するため3年前からはじまり、今回は98組織と関係者合わせると約400人が参加しました。



岡本市長の挨拶

開会式では、主催者を代表して伊賀農林事務所 山川所長、続いて開催地 伊賀市 岡本市長がきらびやかな忍者衣装で挨拶。

その後、組織エンパワーメントとブランディングを掛け合わせた独自の手法で、全国の企業・団体・地域の社会

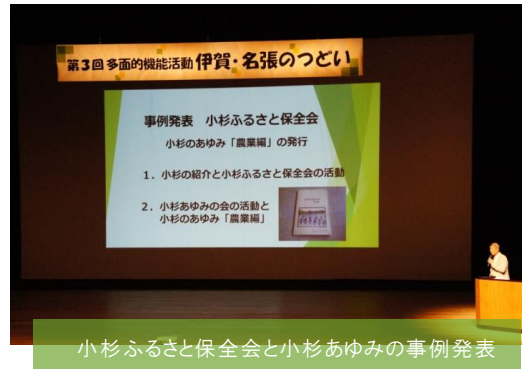


株パークスターズ代表取締役
幸田 涼氏の基調講演

貢献性の向上に取り組み、年間100プロジェクトを手がける(株)パークスターズ代表取締役 幸田 涼氏による基調講演が行われました。「街や村に眠る魅力を掘り起こそう」～地域資源を発掘！幸せで持続可能なまちづくりへ～をテーマに、兵庫県姫路市や加西市などの事例を紹介しながら、地域資源のを見つけ方をわかりやすく説明されました。後のアンケートでは大変参考になりました…との声が多く寄せられていました。

続いて3組織による事例発表が行われました。

1組目は、伊賀市柘植地区の小杉ふるさと保全会と小杉あゆみの会が「小杉のあゆみ（農業編）発行」と題し、地域から発見された昔の農業に関する年表資料を基に冊子を発行。このような広報活動を続けて、次世代に小杉の農業を引き継いで行きたい…と強い思いを話しました。



小杉ふるさと保全会と小杉あゆみの事例発表

2組目は、名張市美旗地区の下小波田農地管理組合が「農地環境を守る下小波農地管理組合」と題し、地元小学生の農業体験および遊休農地に景観植物を栽培、また地区外耕作者の懇談会を開くなど、地域ぐるみで環境・農地・地域づくりに取り組む様子を熱く話しました。

3組目は、伊賀市阿波地区のねのび地域保全会が「水車の郷の活動」と題し、昔 公民館にあった水車を数十年前に復元、修理を重ねこの度3代目となる水車を自分達で修繕し、将来のためこと図面に整理した様子などを発表。伝統的な農法技術の伝承と、この水車を地域のシンボルとして受け継いで行きたい…と意気込みを話しました。

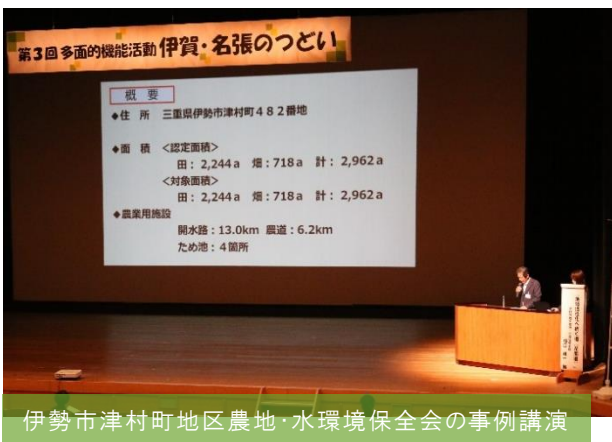


下小波田農地管理組合の事例発表

休憩をはさんで、伊勢市津村町地区農地・水・環境保全会の樋口耕一氏が「地域活性化へ続く道（花開道）」と題し、町を通っているバイパス道路の景観形成を含め農地の雑草対策のために、平成20年から取り組んでいる花の栽培について講演。四季折々の花が咲き誇るこのバイパス道路を「花開道」と名づけ、近頃は地域内外から多くの見物客が訪れ賑わっていると紹介されました。



ねのび地域保全会の事例発表



伊勢市津村町地区農地・水環境保全会の事例講演



のぼりコンテスト応募作品

会場ロビーではのぼりコンテストが開催され、思考を凝らした応募作品の前では「こんなのぼりうちの組織でも作ろう！」と写真を撮り合う姿が多く見られ賑わっていました。

閉会式前ののぼりコンテスト表彰式では、参加者の投票により上位5位までが表彰され記念品が贈られました。

会場内は終始大きな拍手が沸き起こっていました。



のぼりコンテストにて
表彰された活動組織のみなさま

多面的機能の維持・発揮活動

「第11回みえのつどい」が開催されます

日時：平成30年12月15日（土）

10：00～13：00 [開場9：30～]

場所：三重県総合文化センター

〈津市一身田上津部田1234〉中ホール 他

プログラム

◆全体会【中ホール】10：00～11：45

開会挨拶

優秀活動の表彰及びフォトコンテスト受賞作品紹介

基調講演「地元の資源を活用した地域づくり」

NPO法人 吉備野工房ちみち 加藤 せい子氏

◆分科会 12：00～13：00

第1分科会

「テーマ：多面的機能支払の取組事例報告」

第2分科会

「テーマ：より良い地域づくりに向けて

～次世代リーダーへの継承・活動の自立に向けた体制づくり～」

第3分科会

「テーマ：地域の魅力発見&マップづくり研修会」

第4分科会

「テーマ：多面活動組織のための獣害対策」

第5分科会

「テーマ：実践活動（安全対策・畦畔保全・補修メンテナンスの説明等）」

今回も、優秀活動やフォトコンテストの表彰紹介をはじめ、全体会での基調講演や参加型の分科会など企画をご用意しております。みなさまのご参加をお待ちしております。